

部 局	市立豊中病院事務局	補 職	部 長	氏 名	市立豊中病院事務局長
-----	-----------	-----	-----	-----	------------

1. 部局の使命

救急医療やがんなど高度医療の提供など、公立病院としての役割を果たしながら地域の医療機関との連携を一層強化し、地域の急性期医療を担う中核病院として高度で良質な医療を提供する。
また、医療の質を確保・向上するためにも、公営企業として経営の効率性を追求し、安定した運営を継続する。

2. 使命を遂行するための取り組み方針と、それに基づく取組みの総括 方針取組みの総括

方針	取組みの総括
<p>新型コロナウイルス感染症に対し、感染症指定医療機関としての責務を果たします。 ○今後増大が見込まれる新型コロナウイルス感染症患者へ対応するため、医療提供体制の確保に取り組みます。</p> <p>組織の使命を遂行するため、『市立豊中病院運営計画』（取組期間：平成30年度（2018年度）～平成34年度（2022年度））に基づき、下記の視点で病院運営に取り組みます。 ○医療機能と質の向上 急性期医療や高度専門医療を提供していくため、「医療機能と質の向上」に取り組みます。また、自然災害や感染症の発生等に迅速かつ適切に対応できるよう危機管理体制の強化に取り組みます。 ○地域医療連携の推進 地域医療体制の充実と地域包括ケアシステムを構築していくため、地域の医療機関や介護との連携など「地域医療連携の推進」を図ります。 ○「患者サービスの向上、働き方の改善」 患者さんに満足いただけるよう、患者サービスの向上を図るほか、医師をはじめとする職員が健康的で意欲的に働ける環境づくりを通じ、満足度の高い医療サービスの提供を行えるよう、「患者サービスの向上、職員の働き方の改善」に取り組みます。 ○業務の効率化と経営基盤の確立 良質な医療を安定的に提供するため、情報化の推進や適正な収益の確保及び費用管理などにより、「業務の効率化と経営基盤の確立」を図ります。</p>	<p>大阪府の要請もふまえ、新型コロナウイルス感染症にかかる必要な診療体制を確保しました。 ○帰国者接触者外来の設置とともに、一般病棟を活用して入院患者の受入れを行いました。地域の他の医療機関では受入困難な妊産婦、小児、透析患者の受入れを行いました。 『市立豊中病院運営計画』に基づき、下記の視点で病院運営に取り組みました。 ○医療機能と質の向上 がん診療の充実を図るため、がん診療部を設置するとともに、新たに「臨床遺伝専門医」を確保し、がんゲノム医療提供に向けた準備に取り組みました。また、チーム医療に基づくがんリハビリテーションを実施しました。 ○地域医療連携の推進 紹介率の更なる向上に向けて、インターネット外来予約システム（仮称）の導入について検討を行いました。また、新型コロナウイルス感染症対策について、豊中市病院連絡協議会において、関係機関と情報共有を図り、連携して対策に取り組みました。 ○患者サービスの向上、働き方の改善 外来での感染予防・防止対策として電話診療を実施するとともに、入院患者さんへはタブレット端末を活用したオンライン面会を導入しました。また職員の勤怠管理の適正化・効率化を図るため「勤怠管理・勤務予定表作成システム」の更新を行いました。 ○業務の効率化と経営基盤の確立 感染症への対応により医業収益が減少する中、経営面での影響を最小限とするべく、病床確保など感染症対策にかかる国・府補助金の確保に取り組みました。また、光熱水費の削減を図るとともに、災害時において自己水を確保することのできる「地下水利用サービス」の運用を開始しました。</p>

3. 当年度目標と目標設定に対する振り返り等

No	当年度目標(当初設定)		実績		
	取組み事項及びその内容・スケジュール		取組みを行った内容・成果		
				課題・今後の方向性	
1	<p>新型コロナウイルス感染症対策</p> <p>今後増大が見込まれる感染症患者へ対応するため、感染症指定医療機関として、患者の受入れに取り組みます。</p> <ul style="list-style-type: none"> * 一般病床を活用した入院患者の受入れ * 電話診療（薬剤処方）の実施 * 職員の安全衛生の確保（事業場安全衛生委員会との連携） 		<p>新型コロナウイルス感染症対策として、「診療体制の確保」「感染拡大防止に向けた療養環境の整備」「感染症業務に取り組む職員の支援」に取り組みました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○診療体制の確保 <ul style="list-style-type: none"> * 一般病棟を活用した受入病床の確保 * 帰国者・接触者外来の設置 * 一般診療での発熱患者への対応（発熱外来設置） ○感染拡大防止に向けた療養環境の整備 <ul style="list-style-type: none"> * 「COVID-19感染対策マニュアル」の徹底 * 外来窓口・待合エリア等での感染対策の実施 * 救急外来での簡易陰圧ブースの設置 * 電話診療の実施 * オンライン面会の実施 ○感染症業務に取り組む職員の支援 <ul style="list-style-type: none"> * PPE（個人用防護具）の安定的確保、空気清浄機の配備 * メンタルヘルスの実施（アンケート・相談窓口の設置） * 特殊勤務手当の創設 * ワクチン接種計画の策定と実施 <p>これらの取組みを通じて新型コロナウイルス感染症に係る地域の医療体制の整備に貢献することができました。</p>		<p>第4波の流行期に備え、これまでの感染症対策の取組みを継続するとともに、一般診療との両立を図るべくWithコロナ期における病院運営について検討します。</p> <p>また、来年度予定している新たな病院運営計画策定の中で、地域医療構想と連動したAfterコロナの病院運営のあり方について検討を進めます。</p>
	<p>総合計画</p> <p>2-2-③ 地域医療の充実を図ります。</p>		<p>2-2-② 生活衛生の確保を図ります。</p>		
<p>基本政策</p>					
0					

No	当年度目標(当初設定)	実績	
	取組み事項及びその内容・スケジュール	取組みを行った内容・成果	課題・今後の方向性
2	<p>「市立豊中病院運営計画」新プラン等の策定</p> <p>国の地域医療構想など医療環境の変化に対応していくため、現行の「市立豊中病院運営計画」及び「市立豊中病院運営計画実施計画」（計画期間：2018年～2022年）を見直し、新たな計画策定に着手します。併せて、病院施設の長期保全計画策定についても検討します。</p> <p>(4月～6月) 委託事業者の選定・契約 (年内) 「病院運営審議会」諮問 (9月～翌年3月) 経営企画会議での検討 ※計画策定は令和3年度（2021年度）を予定</p>	<p>新たな病院運営計画及び実施計画を策定するため、策定業務を支援する委託事業者の選定を行いました。</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響で「病院運営審議会」への諮問までには至りませんでした。当院を取り巻く内部環境、外部環境の調査に取り組みました。</p> <p>長期保全計画策定についても感染症の影響で、来年度の新たな運営計画と併せて計画の策定に着手することになりました。</p>	<p>新型コロナウイルス感染症の影響により年度を繰り越し、令和3年度（2021年度）内の策定をめざします。</p> <p>計画策定にあたっては、地域医療構想はもとより、新興感染症への対策も踏まえた計画とします。</p>
	<p>総合計画</p> <p>2-2-③ 地域医療の充実を図ります。</p>		
	<p>基本政策</p> <p>0</p>		

No	当年度目標(当初設定)	実績	
	取組み事項及びその内容・スケジュール	取組みを行った内容・成果	課題・今後の方向性
3	「がんゲノム医療連携病院」の指定	<p>「がんゲノム医療連携病院」の指定に向けて、臨床遺伝専門医を確保するとともに、運用に向けた各種院内規定やマニュアルを整備するなど、指定要件充足に向けた取組みを進めました。</p> <p>その結果、新型コロナウイルス感染症の影響で国の指定事務に遅れが生じましたが、本年4月1日より連携病院の指定を受ける見込みとなりました。</p>	<p>指定後は、基幹病院である大阪大学医学部附属病院等の関係機関との連携により、具体的な症例を通じて実践力を養い、連携病院としての機能を高めていきます。</p> <p>一般の「がんゲノム医療連携病院」の指定を契機とした人材確保や人材育成を通じて、地域がん診療連携拠点病院としての診療機能を高めるとともに、ブランド力の向上をめざします。</p>
	<p>地域がん診療連携拠点病院の機能強化を図るため、今年度内の「がんゲノム医療連携病院」の指定をめざします。</p> <p>(4月・5月) 指定要件の再確認と評価</p> <p>(6月・7月) 指定要件の充足に向けた取り組み</p> <p>(8月・9月) 「がんゲノム医療連携病院」指定申請</p> <p>(10月～翌年3月) 指定後の運用を想定した関係機関との調整</p>		
総合計画			
	2-2-③ 地域医療の充実を図ります。		
基本政策			
	0		

4. 中期目標(概ね今後4年間)

No	取組み事項及び取組みにあたっての課題・めざす成果など	スケジュール(工程)
1	<p>医療機能と質の向上 地域医療構想に基づく地域での病床機能の再編が課題となっています。がん・脳卒中・急性心筋梗塞・周産期医療等への診療機能を高め、急性期拠点病院として地域での役割を果たしながら、超高齢社会を見据えた地域医療体制の構築に貢献します。 感染症の発生等突然の有事に迅速かつ適切に対応できるよう危機管理体制の強化に取り組みます。</p>	<p>(継続して実施) ＊地域医療構想への対応 ＊がん医療の充実 ＊救急医療の充実 ＊医療の質改善活動の継続 ＊感染症指定医療機関としての機能強化</p>
総合計画		
	2-2-③ 地域医療の充実を図ります。	
基本政策		
0		
2	<p>地域医療連携の推進 新規入院につながる紹介患者の獲得が課題となっています。診療情報の連携の迅速化や申込から受診・入院までの期間の短縮化を図るなど、かかりつけ医等との連携の向上に取り組み、地域との連携体制を強化・充実します。</p>	<p>(継続して実施) ＊紹介率・逆紹介率の向上 ＊医療機関訪問の強化、「市立豊中病院ネット」普及拡大 ＊「地域医療支援病院」承認要件の維持</p>
総合計画		
	2-2-③ 地域医療の充実を図ります。	
基本政策		
0		

No	取組み事項及び取組みにあたっての課題・めざす成果など	スケジュール(工程)
3	<p>患者サービスの向上、職員の働き方の改善</p> <p>医師・看護師など医療スタッフの働き方改革が課題となっています。医療スタッフの業務負担軽減に取り組むとともに、働き方改革の取組みを進め、当院で働き続けたいと思える勤務環境の整備を進めます。</p>	<p>(継続して実施)</p> <ul style="list-style-type: none"> * 「患者満足度調査」「患者の声」等に基づく改善活動の推進 * 働き方改革の推進 * 業務負担軽減の推進
	総合計画	
	2-2-③ 地域医療の充実を図ります。	
	基本政策	0
4	<p>業務の効率化と経営基盤の確立</p> <p>経営状況の改善が課題となっています。診療報酬改定の動向を踏まえた収益の確保と適切なコスト管理に基づく費用の削減への取組みを進め、安定した経営基盤の確立をめざします。</p>	<p>(継続して実施)</p> <ul style="list-style-type: none"> * 診療報酬改定への対応 * 費用の適正化 * 施設設備修繕計画の推進 * 情報システムの安定稼働
	総合計画	
	2-2-③ 地域医療の充実を図ります。	
	基本政策	0